

会 議 録 （ 会 議 要 旨 ）

会議名	第9回武蔵村山市内循環バス検討協議会
開催日時	平成20年4月8日（火） 午後1時30分から午後3時00分まで
開催場所	301会議室
出席者及び欠席者	<p>（出席者）</p> <p>委員：加藤 敬成（小椋氏の代理人）、佐藤 達雄、金井 治夫、国田 正徳、斉藤 静子、茂野 宏美、高橋 薫、高橋 哲、樋口 豊子、比留間 勉、藤井 敬宏、副市長（敬称略）</p> <p>オブザーバー：立川バス(株)</p> <p>事務局：企画財務部長、企画政策課長、樋口 雅秀</p> <p>（欠席者）</p> <p>委員：中島 謙一、牧野 和宏（敬称略）</p>
議題	<p>1 報告事項</p> <p>（1）第8回市内循環バス検討協議会の会議結果について</p> <p>2 議題</p> <p>（1）市内循環バスのあり方について</p> <p>（2）その他</p>
結論	<p>報告事項</p> <p>（1） 第8回検討協議会の会議結果については一部修正のうえ、決定した。</p> <p>議題</p> <p>（2） 第10回会議については、5月14日（水）午後3時からに、第11回会議については、6月26日（木）に決定した。</p>
審議経過 （○は会長、副会長委員、●は事務局、■はオブザーバー）	<p>報告事項1 第8回市内循環バス検討協議会の会議結果について</p> <p>事務局から「第8回市内循環バス検討協議会の会議結果」について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一件修正の意見があったことから、付け加えさせていただいた。 ● 一部修正のうえ、決定としたいと思う。 <p>議題1 市内循環バスのあり方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前回、議論していただいた中で、いろいろな指摘があったが、最終的に新青梅街道の決定がされていなかった等から最終的な確認をしていきたい。 ○ 確認をする前に、前回の会議の中で市民に対して、どの程度までお知らせするのかという議論を行ったが、バス停は具体的なルートが決定した後に位置を決めることとした。 ○ メリットやデメリット、ルートが無くなってしまったところの説明はどうするか。どういった市報掲載のイメージをしているのか。 ● スケジュールとしては、この協議会でまとまったルート案を5月15日号の市報掲

載を予定している。その際、ルート案に対する説明を載せるが、どの程度載せるのかは検討中である。個々に対応可能な事柄もあると思うが、場合によっては、説明会等を開催する必要もあると思っている。

- 新青梅街道を通るかどうかだが、前回、警察にはバスを運行することに対する意見をもらった。軌道系交通に旅客を運ぶということで、時間をかけずに通すということはいいの議論があった。市民サービスから見てもバス停が設置されないのであれば新青梅街道は通らない方がいいという考えもある。
- 新青梅街道に関することは、前回の会議録でも残っている。利用者の利便性や渋滞を考えると新青梅街道は通らない方がいい。
- 神明通りを通っているが、日中と通勤時では、どの時間帯に多く乗っているのか。
- 時間別の資料はないが、1日単位で見ると利用している人数は多い。
- 通勤時は1分でも早く行きたいと思うであろう。通勤時は神明通りを使わずに日中は通すということはどうなのか。
- 新青梅街道は通らない方がいいと思うが、赤色ルートは江戸街道を通した方がいいのでは。
- 市民にルート案を出すときは、新青梅街道を通すとなれば、現在あるバス停はそのまま利用するにしても、他は停留所は設置しないということは市民に伝えないといけない。
- 神明通りから東大和警察署の脇を通すことは、東大和市の市民にはいいと思うが、既存のルートにした方が武蔵村山市民のためにはいいと思う。
- 仮に神明通りを通さなくて、大曲り交差点から真っ直ぐ東へ向かい、朝日通りを通るということも考えられるのでは。
- 前回、議論していただいたルートであるが、修正があっても問題ない。神明については現行に戻したほうがいいという意見と真っ直ぐ走って時間を短縮するルートも考えられる。どちらも微妙というところだが、神明通りを通さないと現行のバスルートが無くなってしまうということもある。
- 今まで走っていたところが無くなってしまうことは、また、むずかしい。
- 新青梅街道は走ったとしてもバス停がないのであれば意味がないのでは。
- 新青梅街道の近くに住んでいるが、朝夕は走らないほうが速い。心理的には1分でも早く着きたいということがある。新青梅街道を走らせる効果は少ない。
- 新青梅街道を通らずに、青梅街道を相互通行したほうが効率よく走れると思う。
- 新青梅街道については、時間短縮はあるが、上り、下りを利用した相互通行にした方がいいとの意見があったが、そういった方向でいいか。
- 賛成である。
- 新青梅街道は通さないことで、通勤時と日中のルート修正をしていきたい。
- 既存のバスルートから離れて東大和市へ行くとしているが、既存のバスルートに戻したほうがいいと思う。
- 通勤時も日中も既存ルートに変更する。
- 通勤時の青色ルートは市役所付近で他の路線と重なっているが。
- 新青梅街道に桃の木のバス停があるが、なぜ、ここだけ残っているのか。

- 昔、新青梅街道に一つぐらいあってもいいのではといった話を聞いたことがある。
- 新青梅街道のバス停は追加は出来ないので、そのまま使うか、廃止するかしかない。
- 新青梅街道を通すということであれば、そのまま桃の木を残すという方向でと思うのだが。
- 西側の人の時間短縮を図ってということもある。
- 赤色ルートは残堀、伊奈平地区が抜けてしまっているの、このままだとすごい反発があるのでと思う。パブコメを出すときにその理由も提示していかないといけない。
- 路線バスは昭島駅行きが走っている。西武線には行けない。
- 前回の議論で新青梅街道が混むのか、江戸街道が混むのかという中でこうしたルート案となったのだが、江戸街道を通さないとかかなりの反発がある。
- この地域は他の地域と比べると路線バスが密である。交通空白地域をどれだけカバーするかをメインにおいて設定したものである。
- 市民にお知らせするには、どういった考えに基づいてということを書き込むことが重要である。黄色ルートもルートの方向性を書き込まないと理解してもらえない。
- 考え方として、新青梅街道を走っても乗れないとその辺がどうなのかと思う。
- 三ツ藤はバス停がなかった所であるから、案のようなルートとなると救えなくなる。
- 何年か前にバス停を設定したところなので、無くしてしまうのはいかがなものかと思う。三ツ藤に住んでいる人も高齢化が進んでいる。
- 気をつけなければいけないのは、今走っているところがなくなってしまうこと。
- 地域の交通不便な状況を見るために、路線バスとの比較も必要ではと思う。その辺りは工夫が必要である。
- 前提条件は、冊子の20ページである。この視点でルートの絞込みをしたものである。個別の話をしてしまうと、元に戻らなければいけなくなってしまう。
- 桃の木停留所はどの程度の利用者があるのか。なければ三ツ藤を通過、江戸街道に出るルートとすればいいのではないか。
- 桃の木から武蔵砂川駅へ向かう利用者は1日1人であった。
- 三ツ藤を通り、都道から江戸街道へ出るとすれば、残堀地区の一部を救える。
- この提案はいかがか。
- 賛成である。
- 青色ルートはどうか。路線が重なっているとの意見もあったが。
- 市役所の回りは重なってもいいのでは。
- 青色ルートは今回案のままでいいか。
- 賛成である。
- 黄色ルートはどうか。他のルートとの乗り換えが可能であるため悪くないと思うが。
- 神明地区は元に戻し、朝日通りを通すこととする。
- 新青梅街道は通らないこととし、桃の木バス停も無くす。
- 赤色ルートは三ツ藤から江戸街道を通り、中原を巡回することとする。
- 青色、黄色ルートはそのままとする。
- 市報掲載については、次回の検討協議会が5月14日となっているが、協議会のメンバーにもこの案の責任があるので、目通ししてもらったほうがいいと思う。

